

比良比叡トレイル④（打見山～八雲ヶ原）

2021年11月14日 Shiba

「比良比叡トレイル」の4工程目である。本日のコースは比良山系の中心部を縦走するコースではあるが、いま一つ人気のないコースのように感じられるのは、主たるピークがないためかもしれない。安曇川沿い地区へのバス便が限られるようになった現在、打見山へは JR 志賀駅からバスに乗りロープウェイに乗り継げばいとも簡単に来れる。また下山口となるイン谷口へは、比良ロープウェイの廃止後運行されなくなったバス便も今は復活しているので、休日に限れば比良の稜線歩きを容易く楽しめるコースであると思う。

JR 志賀駅からびわ湖バレイ行の江若バスの初発便に乗り込みロープウェイ駅前まで。ロープウェイの切符売り場には車で来た人たちが既に数十人並んでいる。事前の調べではロープウェイの初発は9:00のはずであったが、窓口の掲示には9:30からとなっている。順番的に我々は2番便で山頂へ。この日は紅葉のいい時期で、ロープウェイのゴンドラから降りた大半の人たちはお目当ての琵琶湖テラスへ向かうが、我々はスキーリフトのある方へ向かう。出口を出てそのまま真っすぐ行くと比良比叡トレイルの標識があるのでそこで出発準備。

トレイルコースは北面のスキーゲレンデを下っていくのだが、下り口はロープで規制されているので、そのロープを跨ぎ越えて進んでいく。ゲレンデの中央部には30～40m程の間隔で園芸用と思われる細めの金属棒が差し込まれており、その先にテープが取り付けられている。ゲレンデの途中右手に木戸峠への標識があり、そこを右手に折れて進むとすぐに木戸峠だ。ここから稜線歩きが始まる。

この日は紅葉の時期ではあるが稜線の木々の葉っぱはほぼ落ちてしまっている。しかし正しく小春日和、葉っぱがないおかげでその穏やかな日差しを全身に受けながらの心地よい山歩きができる。しかもロープウェイで一気に1,100mの地点に上がったため、登りの苦労もせずに楽ちん山歩きである。

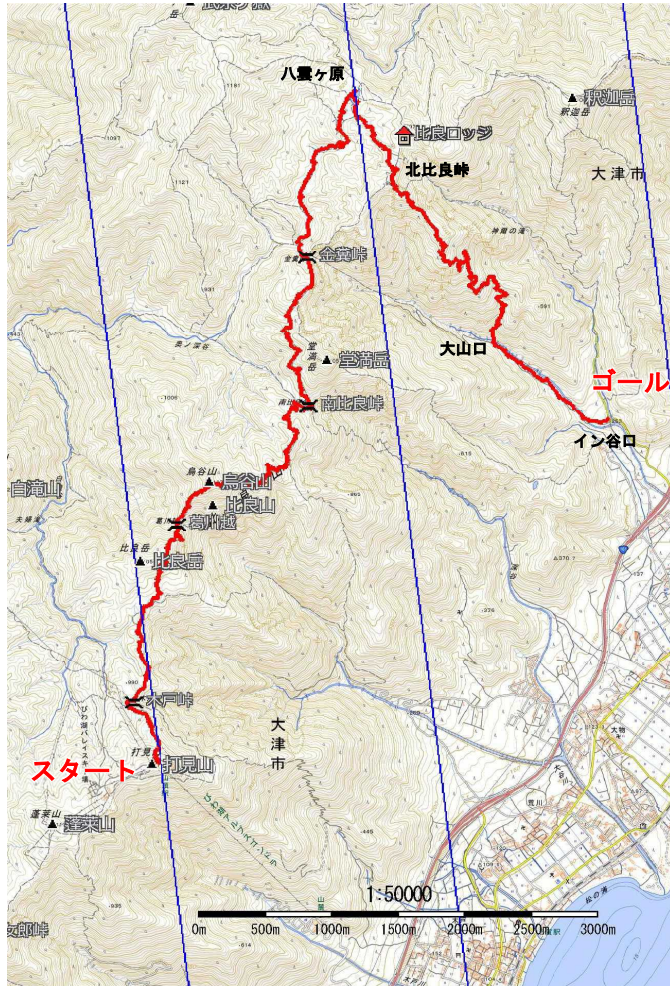
スタートして50分程で比良岳到着。葛川越まで一旦下り、本日のコースで一番の直登を登り終えると烏谷山である。烏谷山はスタート地点の打見山を除くと本日の最高峰であるが、休憩の適地がないため、一息ついて次に向かう。烏谷山から10分程下った所に目立たない鞍部があり、ここで道は2手に分かれる。私の地図では左手の下り気味の道しか載っていないが、同行者の別の地図には稜線を行く道もある。同じ行くならと後者の道を選択したが、障害が多く、選択間違いであった。荒川峠の所に休憩の適地があり、ここで昼食休憩。南比良峠を過ぎ、金糞峠には13:15に到着。ここからイン谷口へ下る選択肢もあるが、時間的余裕もあるため、八雲ヶ原まで足を延ばしてからイン谷口へ下山した。

八雲ヶ原も徐々にその姿を変えつつある。数年前までは目の前のスキーゲレンデ跡も赤土のむき出しであったが、今では灌木も生え始めていることに、自然が回復してきていることに気づかされた。

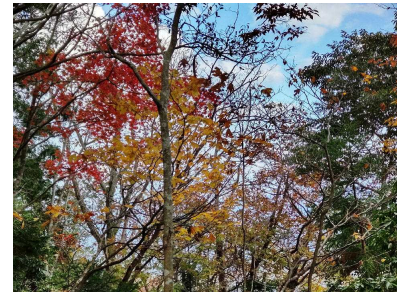
◆メンバー：S、他2人

◆コース：JR 志賀駅—（バス・ロープウェイ）—打見山 9:45～木戸峠～比良岳～烏谷山～荒川峠 11:50～南比良峠～金糞峠～八雲ヶ原～北比良峠～イン谷口 16:00—（バス）—JR 比良駅

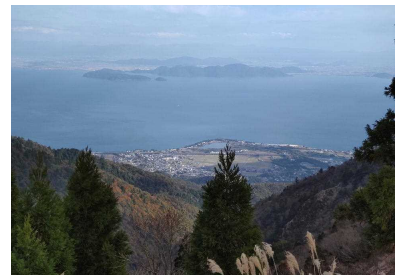
◆所要時間／歩行時間：6時間15分／5時間20分



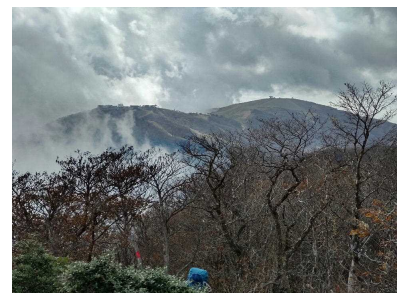
比良比叡トレイル④の歩行ルート
(地図の縮尺は不正確です。)



中腹地点での紅葉



北比良峠から眼下に近江舞子を眺める



打見山と蓬莱山を振り返る



打見山の標識

木戸峠の標識

烏谷山頂の標識